
透析中の下肢牽引痛に対する非医療用低周波刺激器「SIXPAD FOOT FIT PLUS」の有用性

医療法人衆和会 長崎腎病院

○津久田明日香 船越 哲

【背景・目的】

透析患者の下肢牽引痛は高頻度で発症し、疼痛と不安感は患者にとって大きなストレス因子である。近年、運動療法や予防マッサージによる下肢牽引痛の予防効果が報告されている。今回は非医療用低周波刺激器(SIXPAD)による下肢牽引痛の予防効果について検証した。

【対象・方法】

ツムラ68(芍薬甘草湯)を内服している26名中、透析中に下肢牽引痛を高頻度で発症する患者8名へ聞き取り調査を行った。男性4名、女性4名、平均年齢 65.8 ± 6.7 歳、平均透析歴 5.9 ± 6.7 年において、透析前にSIXPADを12分間実施し、皮膚再灌流圧測定検査(SRPP)と数値評価スケール・下肢牽引痛の回数を調査した。

【結果】

SRPPでは足底各部位での有意差は認められなかったが、下肢牽引痛の回数では8名中5名が75%下肢牽引痛の軽減が確認された。また、透析中の下肢牽引痛に対する処置回数も減少できた。

【考察】

透析前のSIXPADによる簡易的な運動は、運動療法等に比べスタッフの人員削減につながり、臨床所見上においても下肢牽引痛に対し有用であり患者に安心感を与える可能性がある。